

文化財観光施設を活用した歴史体験検討委員会（第2回）

- 議 事 録 -

日 時：令和元年9月3日（火）13時30分から14時30分

場 所：大洲市役所 2階大ホール

出席者：委 員 14名 ※うち1名代理出席/別添名簿のとおり

- その他
- ・松田副市長
 - ・谷川建設部長
 - ・都市整備課（久保）
 - ・キタ・マネジメント（兒玉、井上）
 - ・バリューマネジメント（福山）
 - ・観光まちづくり課（河野、窪田、村中、高橋、久世）
 - ・傍聴者（兒玉議員）

1 開 会

進行：河野

2 会長挨拶

挨拶：城戸会長

本日は、お忙しい中「文化財観光施設を活用した歴史体験検討委員会」にご参集いただき、誠にありがとうございます。今回は、第2回目の会議開催となるわけですが、11月に実施予定の「実証実験」について、委員の皆様からご意見を頂戴できればと存じます。

本事業、特に大洲城での城主体験につきましては、新聞報道等にもありますように、一部、反対意見、違和感を持たれている方もいらっしゃるようです。

一方で、先般のシンポジウムの際のご意見のように、文化財の活用は、全国的な潮流であり、また今後の保全、活用のためには必要であるとのご意見も多く頂いております。現在、事務局で、市内の各種団体等への説明会を実施されているとのことであり、事務局による説明を聞くと納得、理解される方も多いようでございます。

人口減少を控えた、将来のためには、文化財の活用と地域経済の活性化は大変重要な課題でありますので、委員の皆様の忌憚のないご意見を頂戴しながら、実施に向けて一歩ずつ前進できればと考えております。

3 議事

議事進行：城戸会長

■議案第1号 実証実験 実施要項について

説明：村中

別冊「文化財観光施設を活用した歴史体験 実証実験 実施要項」に基づき事務局より説明が行われた。

※前回までの内容については、参考資料として添付

補足：他力野

今回の城主体験の実証実験については、お客様役は夕食までの歴史や文化を知る体験までとなります。それ以外は安全性や什器の量、運営の流れを確認するものです。

また、静止画や動画などの素材作りを実証実験のとき始める予定としております。伍代さんの場合、著作権の問題が発生しますので、それ以外は使えないものとなります。そのため、別に撮影する必要が生じます。本番までに撮影する機会もないと思われまますので、城主体験チームと素材を残すチームの2つの流れで当日は対応することを報告させていただきます。

食事の対応についてですが、今後泊まってもらおうと思っております古民家ホテルにはレストランを整備する予定ですが、このタイミングでは受入れの設備も無く、簡易なものを借りることとなります。本来は必要なチェックインなども今回は割愛させていただきます。厨房も簡易なものを借りることとなりますので、本来はフルコースの料理を提供しますが、今回は2品ぐらいを出すレベルとなります。写真用にフルコースのものは作ります。そのような対応をさせていただきます。

さらに、城主体験を通して行う情報発信に関しては不特定多数に行われます。そこで、地域の食材が今の時代にも合うように発信していきたいと思っております。それによって大洲のことが広く知られていくことが狙いだと思っております。それがふるさと納税なのか、レストランで食べられるようにするのか、消費喚起が出来るような材料に体験がなればと狙って、作り込みをしてまいります。

■質問

(会長)

事務局及びVMより説明がありました。質問はないでしょうか。

(大洲藩鉄砲隊：城戸)

安全面などについて、いくつか質問します。

まず、雨の時の対応どうしますか。火縄銃は雨や風があるときは実施が難しくなります。また、テントなどを設置しましても、雰囲気的にそぐわないと思います。

また、鉄砲を打った後は手入れが必要です。解体し、お湯などお借りして今

はしておりますが、地図を見るとそのような場所がないように見えます。電源があつて手入れできる場所を用意していただきたい。

さらに、4時30分に札止めをし、5時から入城体験だと30分しか時間がありません。通常、鉄砲隊は準備に1時間欲しいので、市民会館など準備でも手配していただけたらと思います。

鉄砲を打つ回数は時間的に1発程度でしょうか。

(事務局：村中)

雨などの対応は具体的に打合せをさせて頂きたいと思います。出来ないものは出来ないでオペレーションを検討します。

手入れのスペースにつきましては、市民会館の会議室を手配するようにしておきます。

発数については、祝砲として盛大に1発だと思います。詳細は打合せをしていながら決定していきます。

(市議会議長：押田)

大洲の人でも藩主のことを知らないという現実があります。大洲の歴史や当時の様子を目で見ることが出来る機会となるので、大洲の人にとってもありがたいと思っています。さらに、県内、県外、世界にでも知ってもらうチャンスです。何もしなければ大洲は埋もれでいき、情報発信も十分に出来ていない状況ですので、この機会でアピールも出来ます。生き生きとした大洲のまちづくりなると思いますので、大いなる期待を持っています。

しかし、様々な意見をいただいております、その中にはきびしいものもあります。来られた方に不愉快に来てもらっては良くありません。様々な人と通じながら、説明をしていってもらい、来られた方にも気持ちよくなっていきたいと思っております。

さらに、初めて体験する方をいきなり外国人にするのではなく、地元の方が、公募などにすることで和らぐこともあると思います。それから本格的に稼働することが、心の持ち様かもしれませんが大切かもしれません。大洲か県内かわかりませんが、アピールになる方法で考えて頂けたらと思います。

泊まっていいただく方も外国人だけでなく日本人も興味を示してもらっていると聞いております。さらに、有名人が来ると注目度が高くなるという意見もいただいております。出来る範囲でこのようなこともお願いしたいと思っております。

(事務局：村中)

初めの体験者ですが、地元の子どもにも体験出来る機会を作ることを検討しております。

世界に向けて発信をするということに関しましては、日経新聞などによって一部海外版で発信されています。そこから別のウェブに転載されているように、波動的な展開が予想されます。出来るだけ価値あるプロモーションが出来るよう考えていきます。

また、日本人も泊まれる内容にはしていきます。既に神戸の方から問い合わせ

せを頂いております。国内でも需要があることがここからもわかってきておりますが、マーケティングやオペレーションはVMから説明していただきます。

(VM：他力野)

初めの方は、大洲で考えてもらって、それを受け入れます

お金を払えば誰でも良いのか、という点に関しては抵抗感があると思います。私どもは、消費者に対面するので、説明責任があると思っています。予約の段階でこの事業がどういうものか、まちの資産であることなど説明する機会を作ります。実際は来られてみないとわからない点もありますが、事業の意図や何を体験するのか納得していただいたら受入れるといった事前にそのような機会を持つこととしております。

本事業は普通のものとは違います。日本人も外国人も同じように事前に話をして決めます。

有名人は発信力があるので、出来るだけ頑張ります。

(自治会連絡会議：山内)

2点ほど質問します。

プログラム等は良いかなと思っておりますが、大洲にとって、この事業をやることによってメリットが出るようメディアの活用をして頂きたいと思えます。食事に関しましては、大洲の名産や地元で食べられるものの発信を突き詰めていってお店の名前まで発信するかどうかは別として、一番経済効果があると思えます。

2面性があると思えますが、大事に使ってもらうためにビデオカメラを設置するなど対応をされると聞いております。泊まれる方側の個人情報のこともあり、気分が悪くなることもあると思えますので、そのあたりもぜひ注意していただきたいと思えます。

(VM：他力野)

消費が出来る店との連動が出来るように、深い情報も戦略的に行っていきたいと考えております。そのため、現在どういったものを推していくのか聞いている状況です。その中で食材が流通していくような流れを作りたいと思っております。

別の事例にはなりますが、分散型ホテルをやっておりまして、フロントと宿泊施設が別々となっております。自治体の条例によって多少変わりますが、各建物の出入り口にカメラを設置し、動線を押さええています。不在の場合は、近場にすぐに何か対応できるようにスタッフが常駐しているような対応しております。細かいところは後々決定し、情報としてお届けします。

(事務局：村中)

監視カメラについては、既に大洲城内に10か所ぐらい設置しております。プライベート空間に合わせてどこを遮るか、侵害しない範囲でテストをしてまいります。

(文化財保護審議：菅野)

一般客は17時以降に強制的に排除されるようになりますか。そのような方も、実証実験の当日は見る事が出来るのでしょうか。

(事務局：村中)

一般の方が見たいという希望があれば出来るだけ応えたいと思っておりますが、何百人などになると対応が難しいと思います。進行が取れる範囲で対応します。

(歴文会：今井)

計画については、始め疑問はあったが、内容を聞いてから企画には全面的に協力したいと思っています。何点か質問をします。

宿泊者のために待機するスタッフは外国人対応をする必要があると思います。言葉は話せるのでしょうか。意思の疎通はどうしますか。

また、馬を使うようにしているようですが、馬は音に敏感です。馬の待機場所などはどうされますか。暴走すると大変なので、気を付けて実行して欲しいです。やるとなれば絶対に成功して欲しいと思っています。

(事務局：村中)

鉄砲隊の音に関して、馬の待機場所は下に下げるなど対策は取る予定です。

(VM：他力野)

言語が対応できるスタッフを常駐することを約束します。経験則ではありませんが、ハイレベルの人はだいたい学生のころに欧米に留学しているので、英語が堪能だと思います。母国語だけの人は非常に少ないと感じていますので、英語で対応できると思います。申込みが出来る時点である程度日本語化英語が可能だと思います。しかし、対応が出来ない場合は、安全性も含めて事前にお客様と相談してから受入れを行います。

(文化財保護審議：菅野)

ライトアップはすべて消灯するのでしょうか。ひとつ灯りが点いていると活動しているというアピールにもなります。天守でぜひ付けて欲しいと思います。真っ暗だと恐怖感もあるかと。

(事務局：村中)

室内灯だけのパターンはまだ誰も見ていないのではないのでしょうか。光の使い方についても、この機会を考えていきたいと思っています。

(自治会連絡会議：山内)

大洲城から臥龍山荘への移動についてですが、一般の人は町中を歩いてほしいと思いますが、船を使ってもらえば昼鵜飼いの宣伝になります。移動が朝になるとと思いますが、移動手段として有名人が使用するとアピールになると思います。可能かどうかはわかりませんが、お願いしたいと思っています。

(事務局：村中)

船の計画はしていました。実施の時はコンテンツとなる候補として考えています。

(VM：他力野)

船の利用はぜひと思っていますが、伍代さんは今回泊まられないので、物理的に出来ませんでした。肱川と共に文化が育ってきたと思っていますので、実証実験では叶いませんでしたが、本番出来る時期であれば実際に必ず使いたいと思っています。チェックインの前に船に乗っていただき、川から臥龍山荘見ます。翌朝、その臥龍山荘に入り、体験するように楽しんでもらいたいと思っています。

(会長)

意見は出たように思いますので、ここで決を採りたいと思います。

・全員の挙手により、原案のとおり決定

4 その他

説明：村中

事務局から今後のスケジュール及び経営収支モデルについて説明が行われた。

■質問

なし

5 閉会

